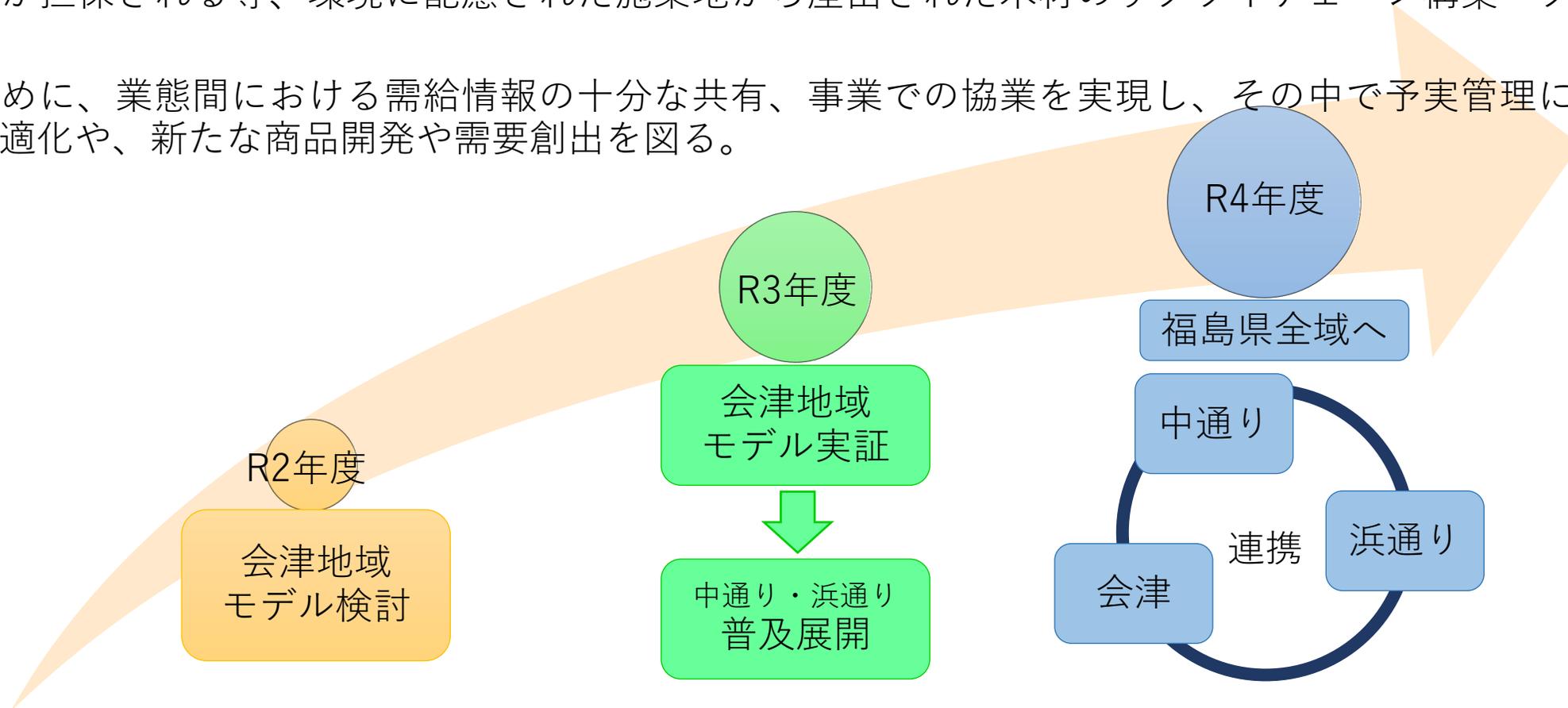


福島県SCM（サプライチェーンマネジメント）推進フォーラムの目指す方向性

- ◆福島県内全域の林業・木材産業関係者が参加する木材SCM推進フォーラムの設立・運営を目指す。
- ◆将来像：
 - ✓ 再造林が担保される等、環境に配慮された施業地から産出された木材のサプライチェーン構築・ブランド化
 - そのために、業態間における需給情報の十分な共有、事業での協業を実現し、その中で予実管理による全体の最適化や、新たな商品開発や需要創出を図る。



福島県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム 木材サプライチェーン基本構想（案）

背景

“SDGs”“CO2削減”等、今後、環境に配慮した持続可能な企業活動・商品・消費がスタンダードに移行していく。

基本方針

「Made In Fukushima」で、環境に配慮した木材・木材製品を供給する。

川上 (森林管理・素材生産)

川中 (製材・集成材生産)

川下 (家具等木工・建設)

課題

□ 環境に配慮した施業

□ 安定した素材供給
➤ 事業地・人材確保

□ 十分な情報把握・共有をしていない
➤ 需給ミスマッチ、経営・生産計画策定し難い

□ 国産材・地域材や、環境認証材への需要の創出・探索

□ 品質への対応
□ 過剰在庫の解消

解決方針

■ 伐採搬出再造林ガイドラインの整備(特に主伐後再造林)
■ 再造林体制の整備

■ 生産計画の共有体制整備
➤ 川中・川下情報の共有により実現(人材・事業地確保へも繋がる)

■ トレーサビリティの確保(環境証明、地域材証明等)
■ 需給マッチング(事業者や商品マッチング、森林情報や設備・技術情報共有の整備)

■ 特徴的な木製品等によるPR
■ 市場調査に基づくブランド化、マーケティング戦略検討
➤ サステナビリティマーケティング、グリーンマーケティング等

■ 仕入・生産計画の共有体制整備

■ 需要情報・仕様の共有体制整備

■ 中大規模物件対応や特殊材等の規格化検討

会津地域におけるSCモデル（案）

モデルの基本

根本的な課題や解決の方向性は「基本構想」と同様。

特有の課題

主流を占める（特に無垢の）構造材に不向きな材の割合が多い。地域内には集成材やCLT工場がない。

取組の方針

- ・ 公共施設の木造化等に向けた内装材等の生産・提供
- ・ 規格型商品のPR

川上 （森林管理・素材生産）

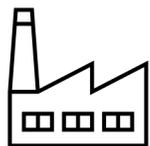
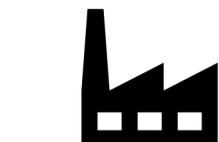
- 苗木生産
- 素材生産
- 再造林



（南会津樹木育苗センター）

川中 （製材・集成材生産）

- 製材
- 加工・製造



（製造工場と乾燥機）

川下 （家具等木工・建設）

《《公共施設等非住宅向け》》



《《規格型商品》》

一部に地域材・広葉樹



※イメージ図：森箱®

- ①森箱 ②縦ログ ③その他

想定市場

福島県
市町村

民間企業
販売所/研修
所/事務所etc

ホームセン
ター、一般消
費者など

施業計画

仕入・生産計画

木材製品WEBマッチングシステム

需要情報・販売計画

需給調整システム

トレーサビリティシステム

福島県全域での連携内容（案）

- 公共施設：県内の他製品（構造材含む）や設計事務所との協同提案、一体提供の仕組み
- 規格型商品（ex:森箱®）：県内他製品・事業者との組み合わせ、開発

川上 （森林管理・素材生産）

- 苗木生産
- 素材生産
- 再造林

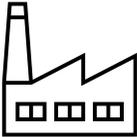
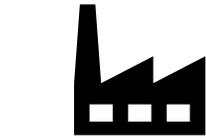


（南会津樹木育苗センター）

- 苗木供給
- 再造林体制の共有

川中 （製材・集成材生産）

- 製材
- 加工・製造



（製造工場と乾燥機）

川下 （家具等木工・建設）

《公共施設の内装材》



《森箱®》 一部に地域材・広葉樹



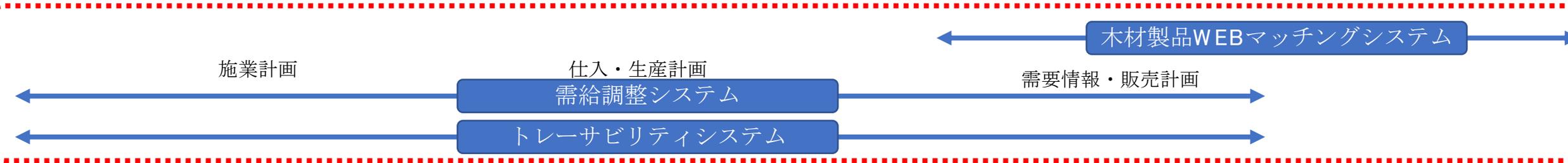
※イメージ図

販売（例）

福島県内自治体

全国の自治体
・ 防災対策として

地域の民間企業
・ お土産販売所
・ 研修所
・ 自宅兼事務所



- WEBマッチングシステム整備→全県へ提案
- R3年以降、公共施設の内装材、規格化商品（森箱®）を事例として需給調整・トレーサビリティシステムの概要・課題整理
- R3年以降、各種システムの実施設計・整備→他地域へ提案・カスタマイズ利用